

COIN COUNTER SCC10

取扱説明書



- 硬貨にゴミやほこりが混じっていると、誤計数する恐れがありますので、あらかじめ、ざるなどでふるい落としてから硬貨をホッパーに入れてください。
- センサー部分が汚れていると、誤計数する恐れがあります。

目次

使用上のご注意	1	エラーコード表示	5
各部の名称	2	お手入れ方法	5
操作方法	3		

使用上のご注意

- ご使用になる前に、この『安全上のご注意』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々の危害や損害を未然に防止するためのものです。
- 注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、『警告』『注意』の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

絵表示の例

警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

△	記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。
⊘	記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（下図の場合は分解禁止）が描かれています。
●	記号は、強制（必ずすること）を告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

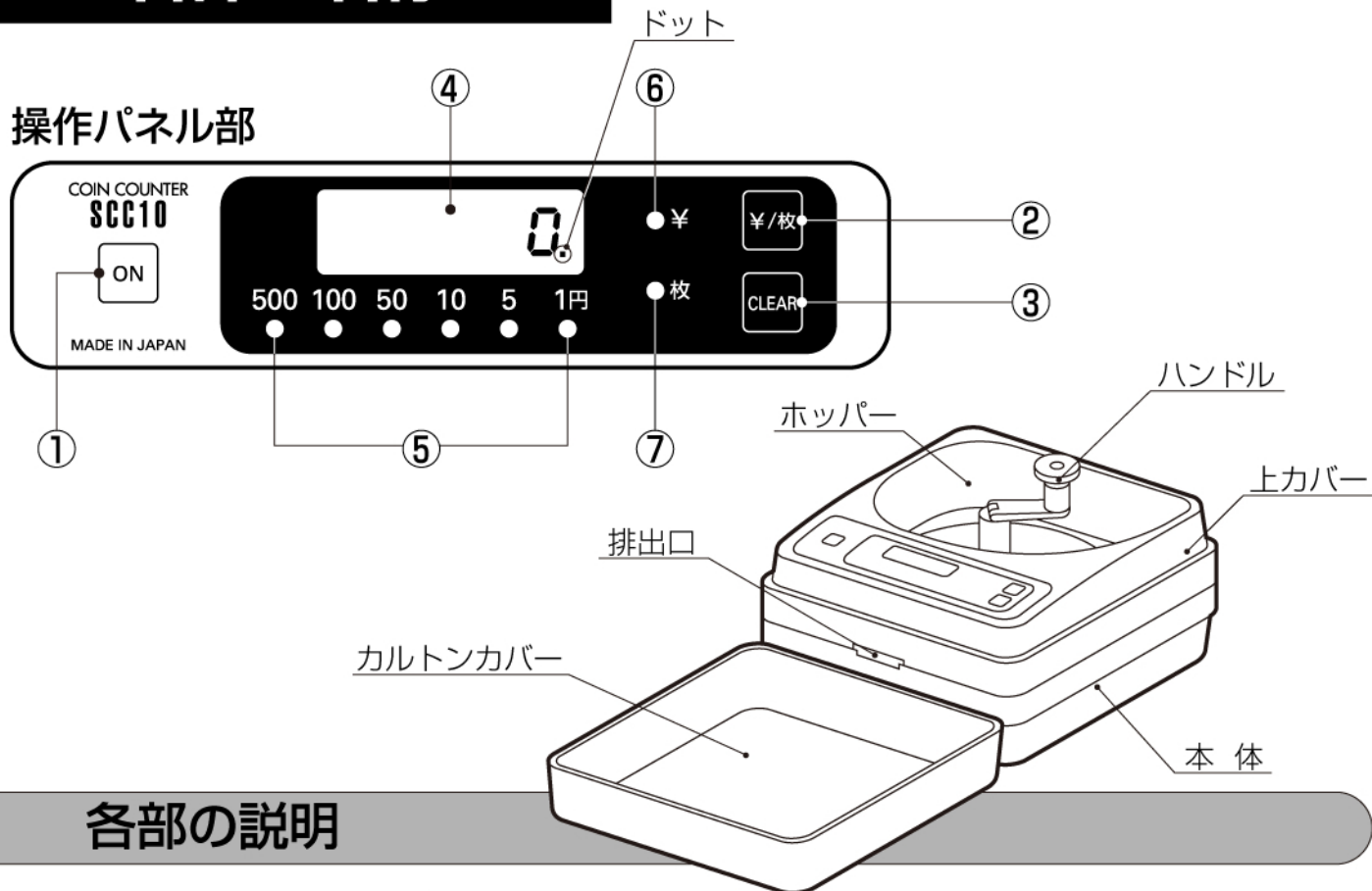
※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

※ケース内の収納ポケットをご利用下さい。




警告	
⊘	水につけたり、水のかかる場所では使用しないでください。感電・故障の恐れがあります。
⊘	表示された電池以外は使用しないでください。火災・感電の原因になります。
⊘	高温になる場所や、湿気が多い場所では使わないでください。故障の原因になります。
⊘	絶対に、分解したり修理・改造は行わないでください。異常動作してケガをする原因になります。

注意	
●	長時間ご使用にならないときは、必ず電池を抜いてください。電池劣化による故障の原因になります。
⊘	直射日光の当たる場所や閉めきった自動車内、または暖房器具のそばなどに放置しないでください。

各部の名称



各部の説明

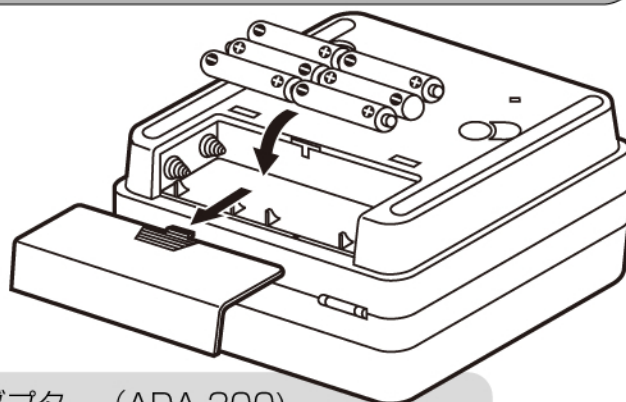
- ① **電源スイッチ** 
本機の電源を入れるためのスイッチです。電源を切る操作は必要ありません。オートパワーオフ機能により、未使用時間が3分を超えると、電源は自動的に切れます。
- ② **表示切替キー** 
計数結果の表示を、金額（円）から数量（枚）に切替えるときと、金額や数量の表示を総計表示から金種別の合計表示に切替えるためのキーです。
また、電源を入れる操作と同時に押すと、計数モード（硬貨/メダル）の切替キーになります。
- ③ **クリアーキー** 
計数値をクリアするためのキーです。キーを押すと、それまでの計数値がクリアされ表示が 0 になります。
- ④ **表示部**
6行のLEDで計数結果、エラーコード、電源残量を表示します。999,999（円/枚）を超える計数はできません。
- ⑤ **金種表示LED**
計数終了後に、金種別に金額（円）や数量（枚）を表示させるときに点灯します。
- ⑥ **¥ 表示LED**
表示部に表示されている数値が、金額（円）であるときに点灯します。
- ⑦ **枚 表示LED**
表示部に表示されている数値が、枚数（枚）であるときに点灯します。

操作方法

電池の入れ方

- 装置の底のカバーを開け、**単3乾電池**を表示の方向に従って**6個**セットします。

※マンガン電池は寿命が短く本来の性能がでません。必ずアルカリ電池を使用して下さい。

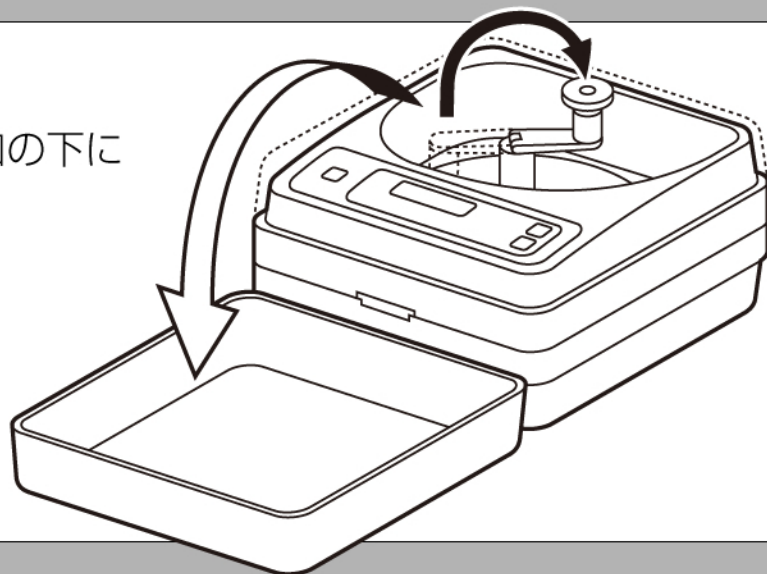


注意

ACアダプターをご使用の場合は専用アダプター（ADA-200）をご使用して下さい。専用でないACアダプターを使用すると電子基板が焼損します。

装置のセット

1. カルトンカバーを外し、排出口の下にセットします。
2. ハンドルを起こします。



硬貨の計数

1. 硬貨をホッパーに投入し、**電源スイッチ**を押します。
表示部に、最初にドットが短時間点灯し、電池の残量を表示します。電池の残量が少なくなると、点灯するドットが減ります。
その後、表示部に、**0** が、LEDは **¥** が点灯します。
なお、エラーコードが表示された場合は、**エラーコードの表示** の項を参照下さい。
2. ハンドルを右側（時計回り）に回転し、計数を開始します。



注意

計数中に、硬貨がつまった場合は、強引に回さずにゆっくりと逆方向へもどし、再度時計方向へ回してください。（E-5エラーになる恐れがあります。）

3. ホッパー内に硬貨が無くなり、排出口から最後の硬貨が排出されるのを確認したら、ハンドルの回転を停止します。
4. 計数結果が表示部に、総合計金額 □□□□□□ 円で表示されています。
このとき、金種別の合計金額を表示させたい場合、**表示切替キー**を短く（1秒以内）押します。
金種表示LEDが、**500→100→50→10→5→1→消灯**の順に切替わり、各々の金種別の合計金額が、順次表示されます。（金種表示LEDが消灯のときは、総合計金額が表示されます。）
5. 計数結果を、数量（枚）表示に切替えるには、**表示切替キー**を1秒以上押して下さい。
枚表示LEDが点灯し、計数値が金額（円）から数量（枚）に切替わります。
金種別の表示のさせ方は **4.** と同様に行ないます。
6. 計数を継続するには、ホッパーに硬貨を追加投入し、ハンドルを右側に回転します。
この場合、計数値は前回の計数値に加算されて表示します。
新たに計数を行ないたい場合には、**クリアキー**を押し、計数表示を**0**にしてから計数を開始して下さい。

硬貨以外（メダルなど）の計数

メダルなど、硬貨以外のものを計数する場合には、つぎの手順で 計数モードを切替えて行ないます。

1. 電源を一旦切ります。（使用中の場合は 3分以上放置します。）
表示切替キーを押したまま、**電源スイッチ**を入れます。
¥表示LEDと **枚**表示LEDの両方が点灯し、計数モードが切替わったことを表示します。
2. 計数をするには、硬貨の計数と同様の手順で行ないます。
ただし、このモードの計数中は、**表示切替キー**による金種別の表示はできません。

エラーコードの表示

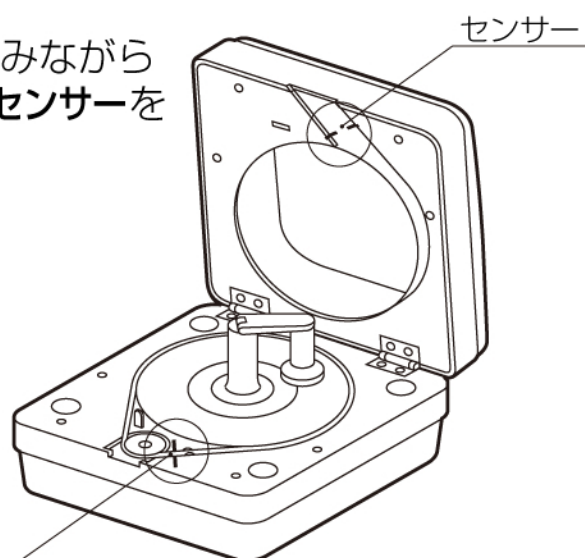
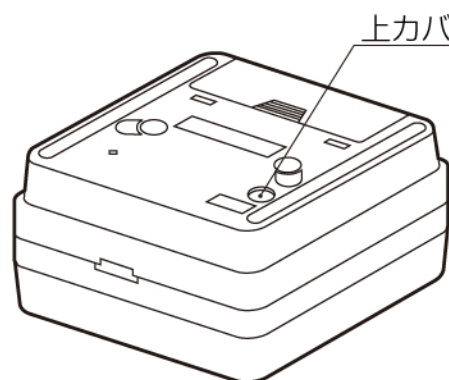
- 装置に故障が発生した場合、又はセッティングが正しく行なわれなかった場合に表示部にエラーコードが表示されます。
エラー表示にしたがって、下表のように対処してください。また、対処をしてもエラー表示が消えない場合には、販売店にご連絡ください。

エラーコード一覧表

表示	意味	対処
E-1	CCD異常（明るい）	<ul style="list-style-type: none">●フタがロックされるまでしっかり閉まっているか確認して下さい。閉まった状態でも表示される場合は、周囲が明る過ぎます。直射日光や、照明器具の真下をさけて下さい。●以上の条件を満たしても表示される場合は故障です。
E-2	CCD調整不能（暗い）	<ul style="list-style-type: none">●センサー部に汚れやゴミが付着していないか、硬貨が残っていないかを確認して下さい。●汚れ、ゴミはハケややわらかい布で取除いて下さい。汚れが無く表示される場合は故障です。
E-3	流通硬貨以外 ゴミの付着	<ul style="list-style-type: none">●流通硬貨以外のもの（メダルなど）の混入。●センサー部にゴミが付着していれば取除いて下さい。
E-5	硬貨逆流で計数不可	<ul style="list-style-type: none">●計数中に、センサー上で硬貨が逆移動しました。もう一度、数え直して下さい。
E-9	電池の電圧が低下	<ul style="list-style-type: none">●新しい電池と交換して下さい。 <p>※ドットが点滅したらE-9に近い信号です。</p>

お手入れ方法

- 装置底面にあるロック解除ボタンを指で押し込みながら上カバーを開き、異物の除去、及びブラシ等でセンサーを掃除して下さい。



注意

清掃の際、シンナーやベンジンなどを使用しないでください。
水につけたり、水をかけたりしないでください。